学校番号	３２２

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	政治経済	単位数	２単位	年次	３年次（体育科）
使用教科書	政治・経済（東京書籍）						
副教材等	最新政治・経済資料集　新版(第一学習社)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

① 教科書や資料集、各種メディア資料等を用いた知識、教養の習得
② 政治や経済の仕組みについて適切に理解できるように教材を精査し提示する。
③ 様々な課題を各自が発見し、主体的に自分の考えをまとめるための発表を行う。
④ 現代社会の政治的分野についても確認、復習をしながら理解を深めていく。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに，諸資料から，社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済 に関する概念や理論などを活用して，現実社会に見られる複雑な課題を把握し，説明するとともに，身に付けた判断基準を根拠に構想する力や，構想したことの妥当性や効果，実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して，合意形成や社会参 画に向かう力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度 を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，国民主権 を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，我が国及び国際社 会において国家及び社会の形成に，より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに，諸資料から，社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	合意形成や社会参画に向け，国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して，現実社会に見られる複雑な課題について考察し，説明するとともに，身につけた判断基準を根拠に構想したり，社会の在り方などについて構想したことの妥当性や効果，実現可能性などを指標にして議論し公正に判断したり，表現したりしている。	・よりよい社会の実現のために，国民主権を担う公民として，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・知識および技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また，粘り強い取り組みを行うなかで，自らの学習を調整しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	現代日本政治	・民主政治の成立 ・法と民主政治 ・基本的人権の確立 ・現代の民主政治 ・世界のおもな政治体制	a：政治と法の意義と機能，基本的人権の保障と法の支配，権利と義務との関係，議会制民主主義，地方自治について，現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 b：個人の尊厳と基本的人権の尊重，対立，協調，効率，公正などに着目して，日本国憲法と現代政治のあり方との関連および望ましい政治のあり方ならびに主権者としての政治参加のあり方について，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 c：現代の日本政治について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート 調べ学習 提出ﾉｰﾄ	小テスト レポート 発表

	日本国憲法の基本原理、日本の政治機構	・日本国憲法の制定と基本原理 ・基本的人権の保障 ・平和主義 ・国会と立法 ・内閣と行政 ・裁判所と司法 ・地方自治	a: 明治憲法と比べた日本国憲法の特徴や憲法改正の議論，基本的人権の保障と「公共の福祉」との関係，平和主義の意義と日本の安全保障体制について理解している。 b：近年の「新しい人権」や安全保障などをめぐる議論に着目し，日本国憲法が現在の日本においてどのような役割を果たしているか多面的・多角的に考察し，表現している。 c：現代の日本政治について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート 提出ﾉｰﾄ	小テスト レポート 発表
	現代政治の特質と課題	・戦後政治と政党 ・選挙と政治意義 ・世論と政治参加 ・１８歳からの社会参加	a：政党政治と利益集団，選挙の意義としくみ，選挙をめぐる諸問題，世論形成におけるマスメディアの役割について理解している。 b：主権者である自分はどのように政治参加をしていけばよいか，具体的な政策を通して多面的・多角的に考察し，表現している。 c：現代の日本政治について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	小テスト	レポート 調べ学習	小テスト レポート 発表

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
2学期	現代日本の経済	・経済活動の意義 ・資本主義経済の発展と変容 ・経済主体と経済の循環 ・生産のしくみと企業 ・市場経済の機能と限界 ・国民所得と経済成長 ・金融のしくみと機能 ・１８歳からの社会参加 ・財政のしくみと機能	a:法や規範に異議及び役割にかかわる現実社会の事柄や課題を理解している。 b:身近な紛争や訴訟を取り上げ幸福・正義・構成などに着目して考えている。 c:法や規範の意義と役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート 提出ﾉｰﾄ	小テスト レポート 発表ﾄ
	日本経済の発展と現状	・戦後日本経済の発展 ・日本経済の現状	a: 経済活動と市場，経済主体と経済循環，国民所得と経済成長，物価と景気変動，財政のしくみと役割および租税などの意義，金融のしくみと機能について，現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 b: 個人の尊厳と基本的人権の尊重，対立，協調，効率，公正などに着目して，経済活動と福祉の向上との関連ならびに市場経済の機能と限界，持続可能な財政および租税のあり方，金融を通した経済活動の活性化について，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 c: 現代の日本経済について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート 提出ﾉｰﾄ	小テスト レポート 発表

2学期	福祉社会と日本経済の課題	・公害と環境保全 ・農業、食料問題 ・中小企業の現状と課題 ・情報化の進展と社会の変化 ・消費者問題 ・雇用、労働問題 ・社会保障と福祉	a: 公害と環境保全，農業・食料問題，中小企業の現状と課題，情報化の進展と課題，消費者問題，雇用と労働問題，社会保障と福祉社会の実現について理解している。 b: 日本の経済や社会が抱える諸課題の解決に向けて自分には何ができるか多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 現代の日本経済について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート 提出ﾉｰﾄ	小テスト レポート 発表
	現代の日本の諸問題	・少子高齢化における社会保障 ・地域社会の活性化 ・多様な働き方生き方の実現 ・中小企業の意義と課題 ・日本の財政健全化 ・持続可能な食料・農業の実現 ・防災と安全・安心な社会の実現	a:現代日本における政治・経済の諸課題に関する諸資料について，課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 b: 少子高齢社会における社会保障，地域社会の活性化，多様な働き方・生き方の実現，中小企業の意義と課題，日本財政の健全化，持続可能な食料・農業の実現，防災と安全・安心な社会の実現などについて，取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 c: 現代日本における政治・経済の諸課題について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとし，合意形成や社会参画に向かおうとしている。	定期考査	レポート	レポート 発表

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
3学期	現代の国際政治	・国際政治の特質 ・国際社会と国際法 ・国際連合の役割と課題	a：国際社会の変遷，国際法の意義，国際連合をはじめとする国際機構の役割，軍縮と紛争防止，日本の国際貢献について，現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 b：個人の尊厳と基本的人権の尊重，対立，協調，効率，公正などに着目して，国際法の果たす役割および国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 c：現代の国際政治について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート 提出ﾉｰﾄ	小テスト レポート 発表
	複雑化する国際政治と日本	・戦後国際関係の展開と日本 ・冷戦後の国際関係と日本 ・地域主義の動き ・軍縮の動向と課題 ・紛争・難民・テロリズム ・国際社会における日本の役割	a：第二次世界大戦後の国際関係の展開と日本，地域主義の動き，軍縮の動向と課題，地域紛争と難民問題，国際社会における日本の役割について理解している。 b：国際社会の各主体の役割や自分自身との関わりに着目して，国際対立や地域紛争を解決し，平和を実現するにはどうすればよいか多面的・多角的に考察し，表現している。 c：現代の国際政治について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 提出ﾉｰﾄ	小テスト レポート 提出ﾉｰﾄ

	現代の国際経済	・貿易と国際収支 ・戦後国際経済体制の展開 ・発展途上国の経済	a：貿易の現状と意義，為替レートの変動，国民経済と国際収支，国際協調の必要性や国際経済機関の役割について，現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 b：個人の尊厳と基本的人権の尊重，対立，協調，効率，公正などに着目して，相互依存関係が深まる国際経済の特質および国際経済において果たすことが求められる日本の役割について，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 c：現代の国際経済について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 提出ﾉｰﾄ	小テスト レポート 提出ﾉｰﾄ
	世界経済の現状と課題	・グローバル化する世界経済 ・地球環境問題 ・資源・エネルギー問題 ・人口・貧困・感染症	a：グローバル化する世界経済や，地球環境問題，資源・エネルギー問題，貧困問題などの主要な地球的課題について理解している。 b：地球社会の一員としての立場から，地球規模の課題について自分はどのように対処していけばよいか多面的・多角的に考察し，表現している。 c：現代の国際経済について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 提出ﾉｰﾄ	小テスト レポート 提出ﾉｰﾄ

3 学 期	国際社会の諸課題	・グローバル化にともなう社会変容 ・地球環境と資源・エネルギー問題 ・国際的な経済格差の是正 ・イノベーションの促進と成長市場 ・民族問題と紛争の解決 ・持続可能な社会の実現	a：国際社会における政治・経済の諸課題に関する諸資料について，課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 b：グローバル化にともなう社会変容，地球環境と資源・エネルギー問題，国際的な経済格差の是正，イノベーションの促進と成長市場，民族問題と紛争の解決，持続可能な社会の実現などについて，取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 c：国際社会における政治・経済の諸課題について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとし，合意形成や社会参画に向かおうとしている。	定期考査 小テスト	提出ﾉｰﾄ レポート	小テスト レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度